

## マンソ・ヌクワンタにおける金の違法採掘の現状

### はじめに

マンソ・ヌクワンタの金の違法採掘の現状は極めて厳しいものであり、さまざまな点で職業訓練校の運営や人々の健康などに影響を及ぼしています。金の違法採掘はガーナでは、“galamsey”と呼ばれており、“gather and sell”が訛ったものです。マンソ・ヌクワンタはガーナの中においても、違法採掘が深刻な地域として認識されています<sup>1</sup>。職業訓練校への直接的な影響、人体や環境、農業への影響、マンソ・ヌクワンタの違法採掘の経過、止まらない背景などを簡単にまとめたレポートの中で、皆様にも違法採掘の概況や職業訓練校への影響などを認識していただきたく思います。各種文献、私が現地で撮影した写真や聞き取った内容などをもとにしています。本レポートの掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用はお控えください。

### 職業訓練校への影響

学校への影響の一つとして、学生の違法採掘への関与があります。一部の学生は休日などを利用して、違法採掘を行っており、親への仕送り、子供の養育費などに充てています。学校は無料ですが、稼がないといけな事情がある学生がいるのも事実です。現在、1名が長期欠席していますが、SPJの現地スタッフによると病気の両親のためにお金を稼いで治療費を捻出しているようです。違法採掘場で働く知り合いからも、その学生がそこでショベルカーを操縦しているという話を聞いているので確かです。

学校の敷地へも影響しています。まず、学校の敷地自体がかつて違法採掘地でした。元々カカオ農園であった土地をオーナーの家族が違法採掘者へ金の権利を譲渡した結果、大規模な違法採掘地となりました。地域の最高権力者であるオマンヘネが村

---

<sup>1</sup> Laud Nartey, ‘Galamsey: Fourteen (14) Regions Devastated by Illegal Mining Activities – Researcher’, 29 April 2022, <https://3news.com/news/galamsey-fourteen-14-regions-devastated-by-illegal-mining-activities-researcher/>.

のメインロード沿いに大規模な採掘場があることを黙認するわけにはいかず、土地の権利を家族から取りあげました。そして、現地の提携 NGO である MPA Ghana とリース契約を結び、MPA が土地の改良作業を実施しました。スタンさん曰く、土地改良後に行われた土壌検査の結果、汚染の程度は問題ないということです。加えて、学校の土地自体も違法採掘者のターゲットとなっています。金が豊富にあることはわかっているため、ショベルカーが広大な学校の敷地の一部に侵入して掘り下げようとしていたこともあるようです。また、かつての土地所有者の家族が敷地にやってきて、返還を求めた事もあったようですが、説明してお帰りいただいたようです。

水の流れという意味でも学校に影響を与えています。SPJ の宿舎の奥で行われている川の上流部分での違法採掘により、上流部で水が堰き止められています。そのため、雨季の増水時にその水が大量に流れ出して下流部にある学校の敷地で洪水が発生することが懸念されています。学校付近のバイクメカニックに聞き取り調査を行ったところ、道路を挟んだ学校近くの違法採掘場は水が上流部で堰き止められた影響で、水位が低下し、採掘をやめたとのことでした。



写真 1 : 学校の横のカトリック教会の敷地が一部削られた痕跡



写真 2 : SPJ 宿舎近くの違法採掘地



写真3：学校の敷地内にあった金が含まれている可能性があるという石

### 環境・人体・農業への影響

まず金の違法採掘の原理は、ショベルカーで土を掘り起こし、Tromel と呼ばれる洗浄パンを用いて岩石を洗浄し、再度薬品などを用いて洗浄を行います<sup>2</sup>。粉碎した岩石に水銀を混ぜると、金が含まれている部分と水銀が付着してアマルガム合金を形成します。これを回収して、バーナーで炙ると水銀部分のみが蒸発して純金が採取されるということになります<sup>3</sup>。水銀は日本の水俣病でも知られるように、腎臓や神経系を攻撃し、深刻な病を引き起こします。この水銀が洗浄の際に使われ、現地の水の中に溶け込んでいる上、バーナーで炙った際に蒸発して大気中を舞っており、環境や健康への影響は甚大なものであることが予想されます。熊本県立大学の先生も参加したマンソ・ヌクワಂತを含む Amansie West 地区での調査では、屋内及び屋外の粉塵に含まれる水銀の量が上昇していると結論づけています<sup>4</sup>。現時点で、地区全体の有効な健康リスクは否定していますが、採掘地周辺については健康への悪影響がある可能性が高いと指摘しています。また、金の違法採掘が生態系の破壊、森林の減少などにも深刻な

---

<sup>2</sup> David Ferring, Heidi Hausermann, and Emmanuel Effah, 'Site Specific: Heterogeneity of Small-Scale Gold Mining in Ghana', *The Extractive Industries and Society* 3 (1 December 2015), <https://doi.org/10.1016/j.exis.2015.11.014>.

<sup>3</sup> Chen Sophia, '深刻化する水銀汚染、その大きな要因は「金の採掘」だった', WIRED.jp, 7 February 2019, <https://wired.jp/2019/02/08/mercury-poisoning/>.

<sup>4</sup> Patrick Adu Poku et al., 'Health and Environmental Risk Assessment of Mercury in Outdoor and Indoor Dust in Artisanal and Small-Scale Gold Mining Area in Amansie-West District in the Ashanti Region of Ghana', *Environmental Geochemistry and Health* 46, no. 9 (13 July 2024): 303, <https://doi.org/10.1007/s10653-024-02077-1>.

影響をもたらしているという調査もあります<sup>5</sup>。

加えて、マンソ・ヌクワントでカカオ農家を調査した研究では、表面的に違法採掘が収入の向上をもたらしているように見えるものの、カカオ農地の減少や汚染などから環境や生活水準、社会的な結束に大きな悪影響をもたらしていると結論づけています<sup>6</sup>。違法採掘とは一切関わらないと話す現地の農民は、カカオ農家の減少や水の汚染による収穫の減少を実感していると話していました。一方で、知り合いのカカオ農家もカカオ栽培と並行して、家族の一部が違法採掘地に「バイト」をしに行って、生計の足しにしているようです。カカオのみでは十分な収入を得られない事も背景にあるかもしれません。



写真4：Tromel と呼ばれる洗浄バン

---

<sup>5</sup> Samuel Ayetibo Ofori et al., 'A Ecological Study of Galamsey Activities in Ghana and Their Physiological Toxicity', *Asian Journal of Toxicology, Environmental, and Occupational Health* 2, no. 1 (31 July 2024): 40–57, <https://doi.org/10.61511/ajteoh.v2i1.2024.395>.

<sup>6</sup> Peter Donkor et al., 'Impacts of Illegal Artisanal and Small-Scale Gold Mining on Livelihoods in Cocoa Farming Communities: A Case of Amansie West District, Ghana', *Resources Policy* 91 (1 April 2024): 104879, <https://doi.org/10.1016/j.resourpol.2024.104879>.



写真5：再度洗浄を行っている様子



写真6：アマルガム合金をバーナーで炙った後の金

#### なぜ終わらないのか：政治面・土地の権利の面から

このテーマはガーナで永遠と議論されていて、回答は膨大にあります。そのため、今回はガーナの土地制度と政治状況から検討します。ガーナの国土は、80%が伝統的な指導者の管理下にあり、残り20%が政府の土地です。伝統的に地域の指導者（チーフ）は、祖先の代わりに、土地や財産、人々などを管理し、保護する立場にあります<sup>7</sup>。その役割

---

<sup>7</sup> Cecilia Addei and Richard K. Amankwah, 'Myths and Superstition in the Small-Scale Gold

は 1992 年の憲法でも認められ、今も変わっていません。しかし、土地の権利がチーフに属している一方、土地に眠る金属資源の権利は土地法の規定で国家に属します。そのため、金がコミュニティ内にあっても、その利権は国が管理するため、地域に還元されにくい現状があります。このようなことから、地域の人々や一部の王族は、国家と金の多国籍企業に利益を取られる前に、自分たちの土地を掘り起こし、金を採掘して、お金を稼いでいます。土地はチーフに属していることから、チーフが違法採掘者に貸与や売却し、金の収入の一部を得ているという指摘があります<sup>8</sup>。この土地の権利の譲渡や鉱業権の獲得などの過程で、国政政党 NPP を中心にガーナの政治家も大きく関与しているとも言われています。政治面から見る観点は多様ですが、一点紹介すると、違法採掘が盛んな地域で経済的な利益を受けているのは違法採掘者のみならず、地域の商人など幅広くいるため、違法採掘への取り締まりを強化すれば選挙での票が期待できなくなるとの分析もあります<sup>9</sup>。

#### マンソ・ヌクワントのガラムセイの経過

Google Map の航空写真を用いて、マンソ・ヌクワントの上空を見ると、違法採掘場が広がっていることがよくわかります。茶色っぽい水が溜まった場所は全て違法採掘地です。Amansie West District Assembly によると、5,000 キログラム以上の金が未だ地域には眠っていると推定されています。2000 年代初頭から 5 万人ほどの中国人がガーナで金の採掘をするために流入しました<sup>10</sup>。そして、マンソ・ヌクワントでも活動をしていたと考えられ、2012 年には地域の若者と中国人の違法採掘者が衝突し、9 人の違法採掘者が逮

---

Mining Industry of Ghana', *Research Journal of Environmental and Earth Sciences* 3, no. 3 (2011): 249–53.

<sup>8</sup> Kojo S. Amanor, 'Land Administration, Chiefs, and Governance in Ghana', in *African Land Reform Under Economic Liberalisation: States, Chiefs, and Rural Communities*, ed. Shinichi Takeuchi (Singapore: Springer Nature, 2022), 21–39, [https://doi.org/10.1007/978-981-16-4725-3\\_2](https://doi.org/10.1007/978-981-16-4725-3_2).

<sup>9</sup> Moses Asori et al., 'Is Illegal Mining Socio-Politically Entrenched? An Opinion Piece of the Interaction between Formal Politics and Chief Dominance in Mineral Governance, and Its Influence on Fighting Galamsey in Ghana', *GeoJournal* 88, no. 2 (1 April 2023): 1953–63, <https://doi.org/10.1007/s10708-022-10725-1>.

<sup>10</sup> James Boafo, Sebastian Angzoorokuu Paalo, and Senyo Dotsey, 'Illicit Chinese Small-Scale Mining in Ghana: Beyond Institutional Weakness?', *Sustainability* 11, no. 21 (2019): 1–18.

捕されたと全国メディアで報道されています<sup>11</sup>。末端の採掘者は国外追放されているため、現在中国人は直接的な採掘には従事していません。一方で、1月の滞在中、宿舎の近くの違法採掘地につながる道の途中で車が壊れて、メカニックに修理をしてもらっていた中国人と見られる人物を見かけました。違法採掘場付近のホテルに宿泊する中国系の人物もいました。違法採掘に関係するかどうかはわかりませんが、高額なショベルカーがたくさん村にはあることからなども違法採掘の運営には中国人が未だに関与している可能性は極めて高いです。

マンソ・ヌクワンタはアサンテ王国の一部であり、アサンテヘネが最高指導者です。そのアサンテヘネは 2023 年に違法採掘が深刻な Amansie 地区のチーフを、対策の不足で名指しで批判しました<sup>12</sup>。アサンテヘネはアサンテ王国内のチーフの解任を決定できるため、この批判は重大なものです。また、こちらは嫌疑不十分ですが、Amansie West 地区選出の過去の NPP の国会議員が違法採掘への関与を告発され、本人は関与を否定しています<sup>13</sup>。



写真7：マンソ・ヌクワンタの航空写真 \*黄色の点が SPJ の関連施設  
(Google Map からのスクリーンショット)

<sup>11</sup> 'Nine Illegal Chinese Miners Arrested - MyJoyOnline', 21 July 2012, <https://www.myjoyonline.com/nine-illegal-chinese-miners-arrested/>.

<sup>12</sup> 'Asantehene Vows to Deal with Chiefs Engaged in Galamsey', 17 May 2023, <https://citinewsroom.com/2023/05/asantehene-vows-to-deal-with-chiefs-engaged-in-galamsey/>.

<sup>13</sup> 'Former NPP MP Fingering in Prof Frimpong-Boateng's Galamsey Report Demands Apology', Graphic Online, 21 April 2023, <https://www.graphic.com.gh/news/general-news/former-npp-mp-fingering-in-prof-frimpong-boatengs-galamsey-report-demands-apology.html>.

## 終わりに

金の違法採掘がもたらす影響も、その背景も極めて複雑です。マンソ・ヌクワンタや職業訓練校にも大きな影響が見られます。経済的な側面でも、マンソ・ヌクワンタの物価は農村にも関わらずアクラよりも高いです。農産物の収穫量の減少や人々の購買力の上昇などが要因として考えられます。違法採掘が蔓延するコミュニティでプロジェクトを進める日本の NGO として、このような現状を認識し続けることは極めて重要なもので、本レポートがその一助となればと思います。